９／２２　校長室より №290

今日、新人戦壮行式。校長からの激励の言葉として、次のような話をしました。

〈前略〉**さて，君たちは上杉鷹山という人物を知っていると思う。米沢藩第9代の藩主で，借金で苦しんでいた米沢藩を見事に立て直した，江戸時代屈指の名君である。**

彼の有名な言葉といえば･･･そう「為せば成る，為さねば成らぬ何事も」だ。では，その後に続く言葉をいえるだろうか。「成らぬは人の為さぬなりけり」である。

私はこの言葉と、スラムダンクのあの有名なセリフ，安西先生が言った「あきらめたらそこで試合終了ですよ」が重なる。

鷹山公の言葉の後半「成らぬは人の為さぬなりけり。」は，「達成できないのは，その人が本気でやろうとしていないからだ」という意味になる。最後まで本気でやろうとしなければ，結局物事は成就しない。そこで終わりになる。

時代も背景も違う場面で言われたものだが，いずれも最後まであきらめずにやり切る，あきらめずに本気で努力することの大切さを説いた言葉である。

選手諸君には，技術面・体力面はもちろん精神面でも，いや精神面でこそ，最後まであきらめずに，粘り強く戦ってほしい。また，マナーや礼儀，相手へのリスペクトや周りへの感謝を大切に大会に臨んでほしい。〈後略〉

ああ、若鷲に光あれ！

選手諸君の健闘を祈る!!